

宇佐市
隣保館
だより

第305号

発行

宇佐市隣保館

TEL 宇佐市大字上田一〇四三番地の一
0978(33)1707

ご意見ご感想をお聞かせ下さい。



明けましておめでとうございます

昨年中は、宇佐市隣保館の取り組みに対しまして、皆さまのご協力をいただき誠にありがとうございました。お陰様をもちまして「隣保館ふれあい広場」をはじめとするそれぞれの事業を無事に開催することができました。事業を開催するにあたり、ご尽力いただきました関係団体の皆さまに心から感謝申し上げます。

今年も一人ひとりが大事にされる住みよいまちづくりをめざし、隣保館事業の取り組みを進めて参りたいと思います。皆様方の尚一層のご支援ご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

2017年1月

宇佐市隣保館職員一同





今年度の人権連続講座が無事に終了しました！

人権連続講座第3回、第4回講座のアンケートから抜粋して、参加者の感想を紹介します。



第3回講座 11月8日
 『障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例』と、私の『当事者』意識

恒遠樹人さん

○障がい者に対する差別は、常に感じてきました。いつも弱者が辛い思いをし、差別を受けている現状を一人の人間として、重く受け止めたいと思います。
 ○恒遠さんの部落差別との出会い、社会福祉事業所での障がいのある人との交流を通して学んだ体験からのお話は、分かりやすく良い学習になりました。
 ○障がいのある人にとって、良い環境をつくる際に、その人のことを本当に思っているのか、自分自身の考えが中心になっていないかを改めて考えていく必要があることを再確認させられました。
 ○「人権の歴史」と「福祉の歴史」が重なるというのも、今まで気づかず、目からウロコでした。



第4回講座 11月22日
 「セクシュアリティについて考える」

入任珊工さん

○資料を見たときは、専門的な話かと思ったら、丁寧に説明して下さり、良くわかりました。「自分の周りにはいないと思う」は、「言えない環境にしている」という部分が心に残りました。
 ○親として、未来ある子どもたちに、性の正しい情報・知識を与える必要があると思いました。人は必ず生まれた意味があると思います。
 ○性的マイノリティの子どもが居るという前提で考えるという、当たり前のことを考えてこなかったことに気づかされました。
 ○男・女ではなく、一人の人間として互いに付き合い、共に成長していけたらと思う。そのために、自分は今後どう行動すべきか考え続けます。

今月のお奨め図書

著書名

「おはなし おかわり 大阪の被差別部落の民話」



(編著) 被差別部落の昔話制作実行委員会
 (絵) 岡島礼子
 (発行) 解放出版社
 実行委員会が3年あまりをかけ、大阪府内の被差別部落に聞き取り等に出かけ、貴重な昔話、民話、言い伝えなどを集めた読みきかせの決定版です。

特設人権相談所の開設日

1月10日(火)

開催時間 開催場所

宇佐地区 13:30~16:00 宇佐市隣保館
 安心院地区 9:00~12:00 総合保健福祉センター
 院内地区 13:30~16:00 院内支所 農林研修室

※人権擁護委員が、皆さんの悩みごとをお聞きします。お気軽にお越しください。

1月の休日開館

第2日曜日 1月 8日 10:00~12:00

隣保館休日サロン

- ・ハローワークの求人票等の閲覧
- ・悩み事の相談等々

フラダンス教室

10:00 親子教室 11:00 一般

第4日曜日 1月 22日 10:00~12:00

ヒューライツ・シネマ

上映映画 「クリームパン」

(35分)

上映時間 第1回 10:00~
第2回 11:00~

上映場所 隣保館・集会室(2階)

※入場無料

